クラスタおよびクラスタオブジェクトの健全性を管理および監視する

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/health-checker/concept_understand_cluster_monitoring.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

クラスタおよびクラスタオブジェクトの健全性を管理および監視する . . . 1
クラスタ監視を理解する . . . 1
Active IQ Unified Manager でのクラスター監視について . . . 1
Active IQ Unified Manager でのノードルートボリュームについて . . . 1
Active IQ Unified Manager でのノードルートアグリゲートのイベントとしきい値について . . . 1
Active IQ Unified Manager における ONTAP クラスターのクォーラムとイプシロンについて . . . 2
Active IQ Unified Manager でクラスターリストと詳細を表示する . . . 3
Active IQ Unified Manager で MetroCluster 構成のクラスターの健全性を確認する . . . 3
FC構成のMetroClusterにおけるクラスタの健全性の確認 . . . 4
MetroCluster IP構成におけるクラスタの健全性の確認 . . . 5
すべての SAN アレイクラスターの健全性と容量ステータスを Active IQ Unified Manager で確認する . . . 5
Active IQ Unified Manager でノードリストと詳細を表示する . . . 6
Active IQ Unified Manager で契約更新用のハードウェアインベントリレポートを生成する . . . 7
Active IQ Unified Manager でストレージ VM のリストと詳細を表示する . . . 7
Active IQ Unified Manager でアグリゲートのリストと詳細を確認する . . . 8
Active IQ Unified Manager で FabricPool の容量情報を表示する . . . 9
Active IQ Unified Manager でストレージプールの詳細を表示する . . . 10
Active IQ Unified Manager でボリュームリストと詳細を表示する . . . 10
Active IQ Unified Manager での NFS 共有の詳細の表示 . . . 11
Active IQ Unified Manager で SMB/CIFS 共有の詳細を表示する . . . 12
Active IQ Unified Manager でSnapshotコピーのリストを表示する . . . 13
Active IQ Unified Manager でSnapshotコピーを削除する . . . 13
Active IQ Unified Manager でSnapshotコピーの再利用可能スペースを計算する . . . 14
Active IQ Unified Manager のクラスタオブジェクトウィンドウとダイアログボックスについて . . . 15

クラスタおよびクラスタオブジェクトの健全性を管理および監視する

クラスタ監視を理解する

Active IQ Unified Manager でのクラスター監視について

Unified Manager データベースにクラスターを追加して、可用性、容量、CPU 使用率、インターフェイス統計、空きディスク容量、qtree 使用状況、シャーシ環境などの詳細を監視できます。

ステータスが異常な場合や事前定義されたしきい値を超えた場合は、イベントが生成されます。設定によっては、Unified Manager はイベントによってアラートがトリガーされた際に、指定された受信者に通知を送信します。

Active IQ Unified Manager でのノードルートボリュームについて

Unified Managerを使用して、ノードのルート ボリュームを監視できます。ノードの停止を防ぐための十分な容量をノードのルート ボリュームに確保しておくことを推奨します。

ノードのルート ボリュームの使用容量がノードのルート ボリュームの合計容量の80%を超えると、「ノードのルート ボリュームのスペースがほぼフル」イベントが生成されます。通知を受け取るようにこのイベントのアラートを設定することができます。ONTAP System ManagerまたはONTAP CLIを使用して、ノードの停止を防ぐための適切な処置を行うことができます。

クラスタでONTAP 9.14.1バージョン以降が実行されている場合、ノードのルート ボリュームの監視機能は使用できません。

Active IQ Unified Manager でのノードルートアグリゲートのイベントとしきい値について

Unified Managerを使用して、ノードのルート アグリゲートを監視できます。ルート アグリゲート内のルート ボリュームをシックプロビジョニングしてノードの停止を防ぐことを推奨します。

デフォルトでは、ルート アグリゲートについては容量とパフォーマンスのイベントは生成されません。また、Unified Managerで使用されるしきい値はノードのルート アグリゲートには適用されません。これらのイベントが生成されるように設定を変更できるのは、テクニカル サポート担当者だけです。テクニカル サポート担当者が設定を変更すると、容量のしきい値がノードのルート アグリゲートにも適用されるようになります。

ONTAP System ManagerまたはONTAP CLIを使用して、ノードの停止を防ぐための適切な処置を行うことができます。

クラスタでONTAP 9.14.1バージョン以降が実行されている場合、ノードのルート アグリゲー

トの監視機能は使用できません。

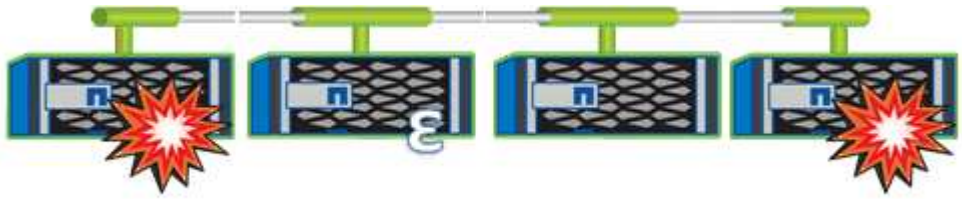
Active IQ Unified Manager における ONTAP クラスターのクォーラムとイプシロンについて

クォーラムとイプシロンは、クラスタの健全性と機能を判断するための重要な基準で、通信および接続に関する潜在的な問題へのクラスタの対応を決定します。

_クォーラム_は、クラスタが完全に機能するための前提条件です。クラスタがクォーラム状態にある場合、ノードの単純過半数は正常であり、相互に通信できます。クォーラムが失われると、クラスタは通常のクラスタ処理を実行できなくなります。すべてのノードが1つのまとまりとしてデータの単一のビューを共有するため、任意の時点において1つのノードの集まりだけがクォーラムを構成することができます。つまり、通信が確立されていない2つのノードが異なる方法でデータを変更できる場合には、データを1つのデータ ビューに表示できなくなります。

クラスタ内の各ノードは、1つのノードをマスターとして選出する投票プロトコルに参加し、残りのノードはすべてセカンダリになります。マスターノードは、クラスタ全体で情報を同期する役割を担います。クォーラムが形成されると、継続的な投票によって維持されます。マスターノードがオフラインになってもクラスタがクォーラムを維持している場合は、オンラインのまま残っているノードが新しいマスターを選出します。

ノード数が偶数のクラスターでは同票になる可能性があるため、1つのノードにはイプシロンと呼ばれる追加の小数投票重みが与えられます。大規模なクラスタの同じ数のノード間で接続障害が発生した場合、すべてのノードが健全であることを条件に、イプシロンが設定されたノードのグループがクォーラムを維持します。たとえば、次の図では、4ノード クラスタの2つのノードで障害が発生しています。ただし、残りのノードの1つにイプシロンが設定されているため、健全なノードが過半数に満たなくてもクォーラムが維持されます。



クラスタが作成されると、自動的に最初のノードにイプシロンが割り当てられます。イプシロンを保持しているノードで障害が発生したり、ハイアベイラビリティ パートナーをテイクオーバーしたり、ハイアベイラビリティ パートナーにテイクオーバーされた場合、イプシロンは別のHAペアの健全なノードに自動的に割り当てられます。

ノードをオフラインにすると、クラスタがクォーラムを維持できるかどうかに影響することがあります。そのため、クラスタのクォーラムが失われたり、あと1つのノード障害によってクォーラムが失われるような処理を実行しようとすると、警告メッセージが表示されます。クォーラムに関する警告メッセージを無効にするには、advanced権限レベルでcluster quorum-service options modifyコマンドを使用します。

一般的に、クラスタのノード間に信頼性のある接続が確立されている場合には、小規模のクラスタよりも大規模のクラスタの方が安定します。ノードの半数にイプシロンを加えた過半数のクォーラムの要件は、2ノードのクラスタよりも24ノードのクラスタの方が簡単に維持できます。

2ノードクラスタでは、定足数を維持する上でいくつかの特有の課題が生じます。2ノードクラスタではクラスタHAが使用され、どちらのノードもイプシロンを保持しません。代わりに、両方のノードが継続的にポーリングされ、一方のノードに障害が発生した場合でも、もう一方のノードがデータへの完全な読み書きアクセス、および論理インターフェイスと管理機能へのアクセスを確実に保持できるようにします。

Active IQ Unified Manager でクラスターリストと詳細を表示する

「Health: All Clusters」ビューを使用すると、クラスターのインベントリを表示できます。「Capacity: All Clusters」ビューでは、すべてのクラスターにおけるストレージ容量と使用率に関する概要情報を表示できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

[クラスタ / 健全性の詳細]ページを使用して、個々のクラスタの健全性、容量、構成、LIF、ノード、ディスクなどの詳細を表示することもできます。

「健全性：すべてのクラスタ」ビュー、「容量：すべてのクラスタ」ビュー、および「クラスタ／健全性の詳細」ページに表示される詳細情報は、ストレージの計画に役立ちます。例えば、新しいアグリゲートをプロビジョニングする前に、「健全性：すべてのクラスタ」ビューから特定のクラスタを選択し、容量の詳細を取得して、そのクラスタに必要なスペースがあるかどうかを確認できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ > クラスター をクリックします。
2. 「表示」メニューで、*健全性：すべてのクラスタ*ビューを選択すると健全性情報が表示され、*容量：すべてのクラスタ*ビューを選択するとすべてのクラスタのストレージ容量と使用率の詳細が表示されます。
3. クラスター名をクリックすると、「クラスター/ヘルス」詳細ページでそのクラスターの詳細情報が表示されます。

関連情報

- "[クラスタ / 健全性の詳細ページ"]
- "パフォーマンス：すべてのクラスターの表示"
- "MetroCluster構成の監視"
- "クラスタとStorage VMのセキュリティ ステータスの表示"
- "評価されるセキュリティ条件"

Active IQ Unified Manager で MetroCluster 構成のクラスターの健全性を確認する

Active IQ Unified Manager（Unified Manager）を使用して、MetroCluster over FC構成およびMetroCluster over IP構成のクラスタとそのコンポーネントについて、健全性を確認することができます。Unified Managerによって検出されたパフォーマンス イベントにクラスタが関連している場合は、健常性ステータスを確認することで、ハードウェアまたはソフトウェアの問題がイベントの一因となったかどうかを判断できます。

開始する前に

- オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

- MetroCluster構成のパフォーマンス イベントを分析し、関連したクラスタの名前を取得しておく必要があります。
- MetroCluster構成（FCおよびIP）の両方のクラスタをUnified Managerの同じインスタンスで監視している必要があります。

FC構成の**MetroCluster**におけるクラスタの健全性の確認

MetroCluster over FC構成のクラスタの健全性を確認するには、次の手順を実行します。

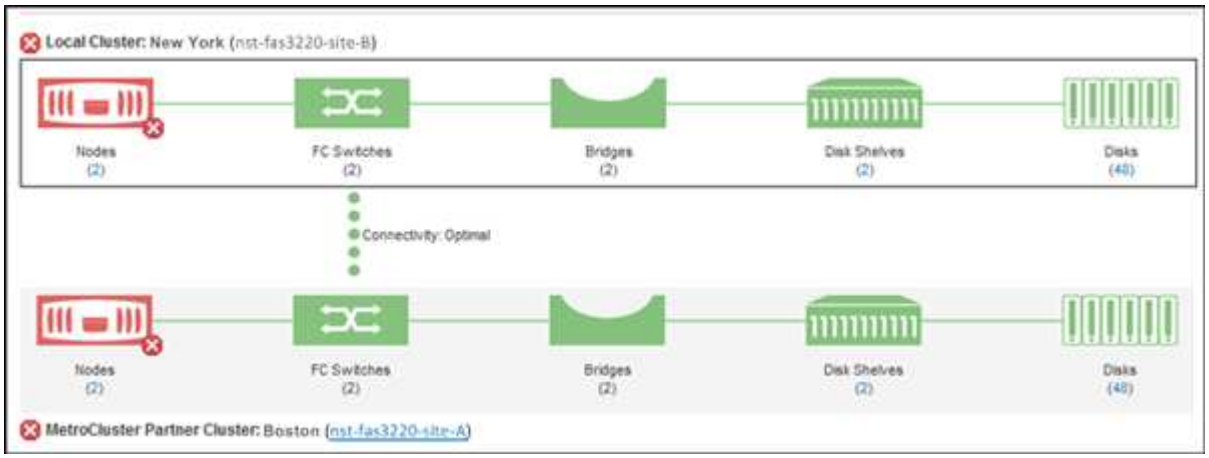
手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Event Management** をクリックすると、イベント一覧が表示されます。
2. フィルターパネルで、*ソースタイプ*カテゴリの下にあるすべてのMetroClusterフィルターを選択します。すべてのMetroCluster構成について環境内で生成されたすべてのイベントが表示されます。
3. MetroClusterイベントの横にあるクラスタの名前をクリックします。

   MetroClusterイベントが表示されない場合は、検索バーを使用して、MetroCluster over FC構成関連のイベントに関係しているクラスタの名前を検索できます。

   「Health: All Clusters」ビューには、イベントに関する詳細情報が表示されます。

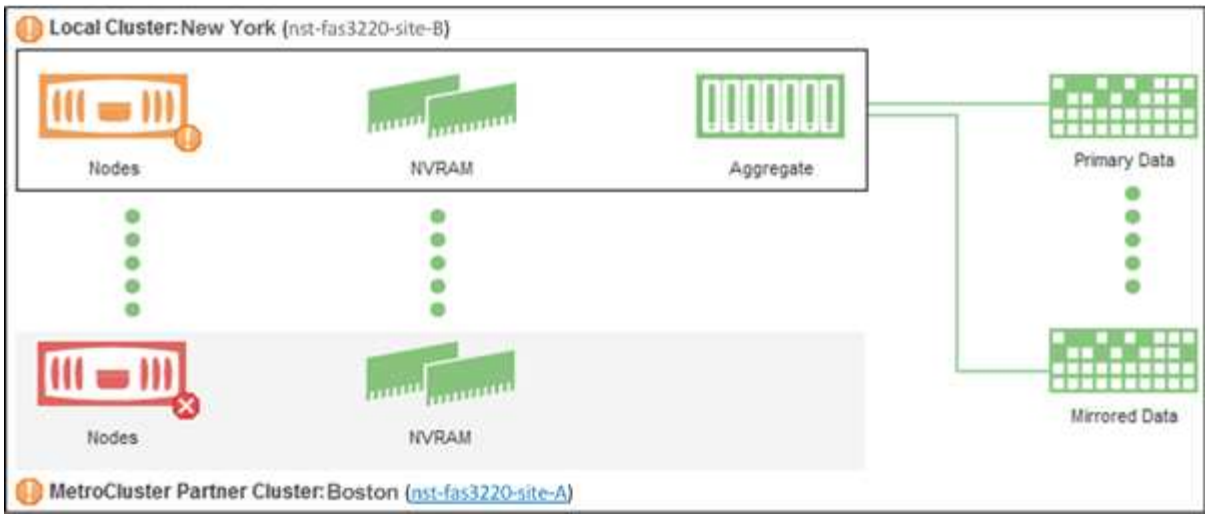
4. *MetroCluster 接続性*タブを選択すると、選択したクラスターとそのパートナークラスター間の接続の健全性が表示されます。



   この例では、ローカル クラスタとそのパートナー クラスタの名前とコンポーネントが表示されています。黄色または赤のアイコンは、強調表示されているコンポーネントの健常性イベントを示しています。[接続]アイコンは、クラスタ間のリンクを表します。アイコンにマウス カーソルを合わせると、イベント情報を表示できます。アイコンをクリックすると、イベントを表示できます。どちらかのクラスタで発生した健常性の問題がパフォーマンス イベントの一因である可能性があります。

   Unified Managerは、クラスタ間のリンクのNVRAMコンポーネントを監視します。ローカル クラスタまたはパートナー クラスタの[FC スイッチ]アイコンまたは[接続]アイコンが赤の場合は、リンクの健常性の問題がパフォーマンス イベントの原因である可能性があります。

5. *MetroCluster レプリケーション*タブを選択します。



この例では、ローカル クラスタまたはパートナー クラスタの[NVRAM]アイコンが黄色または赤の場合、NVRAMに関する健常性の問題がパフォーマンス イベントの原因である可能性があります。ページ上に赤または黄色のアイコンがない場合は、パートナー クラスタにおけるパフォーマンスの問題がパフォーマンス イベントの原因である可能性があります。

MetroCluster IP構成におけるクラスタの健全性の確認

MetroCluster over IP構成のクラスタの健全性を確認するには、次の手順を実行します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Event Management** をクリックすると、イベント一覧が表示されます。
2. フィルタパネルの*ソースタイプ*カテゴリで、 `MetroCluster Relationship`フィルタを選択します。環境内のすべてのMetroCluster構成で発生したすべてのイベントが表示されます。

> レポートされたMetroClusterイベントが表示されない場合は、検索バーを使用して、MetroCluster over IP構成関連のイベントに関係しているクラスタの名前で検索できます。

3. 関連するMetroClusterイベントの横にあるクラスタ名をクリックします。クラスタページに、そのクラスタの詳細が表示されます。健全性の問題の特定に関する情報については、"MetroCluster over IP構成の接続の問題の監視"を参照してください。

すべての SAN アレイクラスターの健全性と容量ステータスを Active IQ Unified Manager で確認する

[クラスタ]インベントリ ページを使用して、オールSANアレイ クラスタの健全性と容量のステータスを表示できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

「健全性：すべてのクラスタ」ビューと「容量：すべてのクラスタ」ビューでは、All SAN Array クラスタの概要情報を表示できます。さらに、クラスタ / ヘルス詳細ページで詳細を確認できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ > クラスター をクリックします。
2. **Health: All Clusters** ビューに「`Personality`」列が表示されていることを確認するか、**Show / Hide** コントロールを使用して追加してください。

   この列には、お客様の All SAN Array クラスタの「`All SAN Array`」が表示されます。
3. 情報を確認します。
4. これらのクラスタのストレージ容量に関する情報を表示するには、容量：すべてのクラスタ ビューを選択します。
5. これらのクラスタの健全性とストレージ容量に関する詳細情報を表示するには、オールSANアレイ クラスタの名前をクリックします。

   [クラスタ / 健全性の詳細]ページの[健全性]、[容量]、[ノード]の各タブで詳細を確認します。

Active IQ Unified Manager でノードリストと詳細を表示する

「ヘルス：すべてのノード」ビューを使用すると、クラスター内のノードの一覧を表示できます。クラスター / ヘルス詳細ページを使用すると、監視対象のクラスターに含まれるノードの詳細情報を表示できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

ノードの状態、ノードを含むクラスタ、アグリゲートの容量の詳細（使用容量と合計容量）、物理容量の詳細（使用可能な容量、スペア容量、合計容量）などの詳細情報を参照できます。HAペア、ディスク シェルフ、およびポートに関する情報を取得することもできます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*ノード*をクリックします。
2. 「Health: All Nodes」ビューで、詳細を表示するノードをクリックします。

   選択したノードの詳細情報が[クラスタ / 健全性の詳細]ページに表示されます。左側のペインには、HAペアのリストが表示されます。デフォルトでは、[HA の詳細]が開き、選択したHAペアに関連するHA状態の詳細とイベントが表示されます。
3. ノードに関するその他の詳細を表示するには、次のうち該当する操作を実行します。

表示する内容	操作
ディスク シェルフの詳細	ディスクシェルフ。
ポート関連の情報	ポート。

詳細については、以下を参照してください。

- "パフォーマンス：すべてのノードの表示"
- "ノードとアグリゲートの使用可能なIOPSの値の表示"

- "ノードとアグリゲートの使用済みパフォーマンス容量の値の表示"

Active IQ Unified Manager で契約更新用のハードウェアインベントリレポートを生成する

ハードウェアのモデル番号とシリアル番号、ディスクのタイプと数、インストールされているライセンスなど、クラスタとノードのすべての情報を含むレポートを生成できます。このレポートは、NetAppActive IQプラットフォームに接続されていないセキュアなサイト（「ダーク」サイト）内での契約更新に役立ちます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*ノード*をクリックします。
2. *ヘルス：すべてのノード*ビューまたは*パフォーマンス：すべてのノード*ビューに移動します。
3. レポート > * > ハードウェア在庫レポート*を選択します。

   ハードウェア インベントリ レポートは、.csvファイルとしてダウンロードされ、その時点における完全な情報を含みます。

4. この情報をNetAppのサポート担当者に提出して契約更新を申請します。

Active IQ Unified Manager でストレージ VM のリストと詳細を表示する

「健全性：すべてのストレージVM」ビューから、ストレージ仮想マシン（SVM）のインベントリを監視できます。ストレージVM / ヘルス詳細ページを使用すると、監視対象のSVMに関する詳細情報を表示できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

SVMの容量、効率、構成など、SVMの詳細を表示できます。また、そのSVMに関連するデバイスやアラートに関する情報も参照できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ > ストレージ**VM** をクリックします。
2. 次のいずれかの方法を選択してSVMの詳細を表示します。
   - すべてのクラスタ内のすべてのSVMの状態に関する情報を表示するには、「表示」メニューで「状態：すべてのストレージVM」ビューを選択します。
   - すべての詳細を表示するには、Storage VM名をクリックします。

     最小限の詳細情報ダイアログボックスで「詳細を表示」をクリックすると、詳細情報をすべて表示することもできます。

3. 最小限の詳細ダイアログボックスで*View Related*をクリックすると、SVMに関連するオブジェクトが表示されます。

関連情報

- "ストレージVM：ヘルス詳細ページ"
- "パフォーマンス：すべてのストレージVMの表示"
- "セキュリティ：ランサムウェア対策ビュー"
- "クラスタとStorage VMのセキュリティ ステータスの表示"
- "関係：すべての関係を表示"

Active IQ Unified Manager でアグリゲートのリストと詳細を確認する

「Health: All Aggregates」ビューから、アグリゲートのインベントリを監視できます。「Capacity: All Aggregates」ビューでは、すべてのクラスターにおけるアグリゲートの容量と使用状況に関する情報を表示できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

アグリゲートの容量と構成、ディスク情報などの詳細を[アグリゲート / 健全性の詳細]ページに表示できます。必要に応じて、しきい値を設定する前にこれらの詳細を使用できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*アグリゲート*をクリックします。
2. 次のいずれかの方法を選択してアグリゲートの詳細を表示します。
   - すべてのクラスター内のすべてのアグリゲートの健全性に関する情報を表示するには、「表示」メニューで「健全性：すべてのアグリゲート」ビューを選択します。
   - すべてのクラスター内のすべてのアグリゲートの容量と利用状況に関する情報を表示するには、「表示」メニューで「容量：すべてのアグリゲート」ビューを選択します。
   - すべての詳細を表示するには、アグリゲート名をクリックします。

     最小限の詳細情報ダイアログボックスで「詳細を表示」をクリックすると、詳細情報をすべて表示することもできます。
3. 最小詳細ダイアログボックスの「関連オブジェクトの表示」をクリックすると、アグリゲートに関連するオブジェクトが表示されます。

関連情報

- "[アグリゲート / 健全性の詳細ページ"]
- "パフォーマンス：すべてのアグリゲートビュー"
- "Active IQ Unified Manager で容量が上限に達しているアグリゲートを表示するレポートを作成する"

Active IQ Unified Manager で FabricPool の容量情報を表示する

クラスタ、アグリゲート、ボリュームのFabricPoolの容量の情報を、それらのオブジェクトの[容量]インベントリ ページと[パフォーマンス]インベントリ ページ、および詳細ページに表示できます。ミラー階層が構成されている場合、これらのページにFabricPoolミラー情報も表示されます。

これらのページには、ローカルの高パフォーマンス階層とクラウド階層の使用可能容量、両方の階層で使用されている容量、クラウド階層に接続されているアグリゲート、特定の情報をクラウド階層に移動することでFabricPool機能を実装しているボリュームなどの情報が表示されます。

クラウド階層が別のクラウド プロバイダにミラーリングされる場合（「`mirror tier`」）、両方のクラウド階層がアグリゲート / 健全性の詳細ページに表示されます。

手順

1. 次のいずれかを実行します。

以下の容量情報を表示するには...	操作
クラスタ	a. 「容量：すべてのクラスター」ビューで、クラスターをクリックします。 b. クラスター / ヘルス詳細ページで、**Configuration** タブをクリックします。 このクラスタが接続されているクラウド階層の名前が表示されます。
アグリゲート	a. 「容量：すべてのアグリゲート」ビューで、「タイプ」フィールドが「`SSD (FabricPool)`」または「`HDD (FabricPool)`」となっているアグリゲートをクリックします。 b. 「Aggregate / Health」の詳細ページで、「Capacity」タブをクリックします。 クラウド階層で使用されている合計容量が表示されます。 c. 「ディスク情報」タブをクリックします。 クラウド階層の名前と使用済み容量が表示されます。 d. 「Configuration」タブをクリックします。 クラウド階層の名前とクラウド階層に関するその他の詳細情報が表示されます。

以下の容量情報を表示するには...	操作
ボリューム	a. 「容量：すべてのボリューム」ビューで、「Tiering Policy」フィールドにポリシー名が表示されているボリュームをクリックします。 b. ボリューム / 健全性の詳細ページで、*構成*タブをクリックします。 ボリュームに割り当てられているFabricPool階層化ポリシーの名前が表示されます。

2. *ワークロード分析*ページで、*容量トレンド*エリアの「クラウドティアビュー」を選択すると、過去1か月間にローカルパフォーマンスティアとクラウドティアで使用された容量を確認できます。

FabricPoolアグリゲートの詳細については、 "ディスクとアグリゲート - 概要"を参照してください。

Active IQ Unified Manager でストレージプールの詳細を表示する

ストレージ プールの詳細を表示して、ストレージ プールの健全性、合計キャッシュと使用可能なキャッシュ、使用済みの割り当てと使用可能な割り当てを監視できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*アグリゲート*をクリックします。
2. アグリゲート名をクリックします。

   選択したアグリゲートの詳細が表示されます。
3. 「ディスク情報」タブをクリックします。

   詳細なディスク情報が表示されます。

   [キャッシュ]テーブルは、選択したアグリゲートがストレージ プールを使用している場合にのみ表示されます。
4. [キャッシュ]テーブルで、必要なストレージ プールの名前にカーソルを合わせます。

   ストレージ プールの詳細が表示されます。

Active IQ Unified Manager でボリュームリストと詳細を表示する

「健全性：全ボリューム」ビューから、ボリュームのインベントリを監視できます。「

容量：すべてのボリューム」ビューでは、クラスター内のボリュームの容量と使用状況に関する情報を表示できます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

[ボリューム / 健全性の詳細]ページを使用して、監視対象のボリュームに関する詳細情報（ボリュームの容量、効率、構成、保護など）を表示することもできます。また、特定のボリュームに関連するデバイスやアラートに関する情報も参照できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 次のいずれかの方法を選択してボリュームの詳細を表示します。
   - クラスター内のボリュームの状態に関する詳細情報を表示するには、「表示」メニューで「状態：すべてのボリューム」ビューを選択します。
   - クラスター内のボリュームの容量と使用状況に関する詳細情報を表示するには、「表示」メニューで「容量：すべてのボリューム」ビューを選択します。
   - すべての詳細を表示するには、ボリューム名をクリックします。

     最小限の詳細情報ダイアログボックスで「詳細を表示」をクリックすると、詳細情報をすべて表示することもできます。
3. オプション： 最小詳細ダイアログボックスから 関連を表示 をクリックして、ボリュームに関連するオブジェクトを表示します。

関連情報

- "ボリューム：健全性詳細ページ"
- "パフォーマンス：全ボリューム表示"
- "セキュリティ：ランサムウェア対策ビュー"
- "ボリュームの保護関係の表示"
- "使用可能なボリューム容量のグラフを表示するレポートの作成"

Active IQ Unified Manager での NFS 共有の詳細の表示

すべてのNFS共有について、ステータス、ボリューム（FlexGroupボリュームまたはFlexVol）に関連付けられているパス、NFS共有に対するクライアントのアクセス レベル、エクスポートされているボリュームに定義されているエクスポート ポリシーなどの詳細情報を表示できます。「健全性：すべての NFS 共有」ビューを使用すると、監視対象のすべてのクラスタ上のすべての NFS 共有を表示できます。また、「ストレージ VM / 健全性の詳細」ページを使用すると、特定のストレージ仮想マシン（SVM）上のすべての NFS 共有を表示できます。

開始する前に

- クラスタでNFSライセンスが有効になっている必要があります。

- NFS共有を提供するネットワーク インターフェイスが設定されている必要があります。
- オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. すべてのNFS共有を表示するか特定のSVMのNFS共有を表示するかに応じて、左側のナビゲーション ペインで次の手順を実行します。

目的	次の手順に従ってください。
すべてのNFS共有を表示	ストレージ > **NFS** 共有 をクリックします。
単一のSVMのNFS共有を表示	a. ストレージ > ストレージ **VM** をクリックします。 b. NFS共有の詳細を表示するSVMをクリックします。 c. ストレージVM / ヘルス詳細ページで、*NFS共有*タブをクリックします。

詳細については、"ファイル共有ボリュームのプロビジョニング"および"APIを使用したCIFSおよびNFSファイル共有のプロビジョニング"を参照してください。

Active IQ Unified Manager で SMB/CIFS 共有の詳細を表示する

すべてのSMB/CIFS共有について、共有名、ジャンクション パス、コンテナ オブジェクト、セキュリティ設定、共有に対して定義されているエクスポート ポリシーなどの詳細情報を表示できます。「健全性：すべての SMB 共有」ビューを使用すると、監視対象のすべてのクラスタ上のすべての SMB 共有を表示できます。また、「ストレージ VM / 健全性の詳細」ページを使用すると、特定のストレージ仮想マシン（SVM）上のすべての SMB 共有を表示できます。

開始する前に

- クラスタでCIFSライセンスが有効になっている必要があります。
- SMB / CIFS共有を提供するネットワーク インターフェイスが設定されている必要があります。
- オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

フォルダ内の共有は表示されません。

手順

1. すべてのSMB / CIFS共有を表示するか特定のSVMの共有を表示するかに応じて、左側のナビゲーション ペインで次の手順を実行します。

目的	次の手順に従ってください。
すべてのSMB/CIFS共有を表示	ストレージ > **SMB** 共有 をクリックします。

目的	次の手順に従ってください。
単一のSVMのSMB / CIFS共有を表示	a. ストレージ ＞ ストレージ **VM** をクリックします。 b. SMB / CIFS共有の詳細を表示するSVMをクリックします。 c. ストレージVM / ヘルス詳細ページで、*SMB共有*タブをクリックします。

詳細については、"APIを使用したCIFSおよびNFSファイル共有のプロビジョニング"を参照してください。

Active IQ Unified Manager でSnapshotコピーのリストを表示する

選択したボリュームのSnapshotコピーのリストを表示できます。Snapshotコピーのリストを使用すると、1つ以上のSnapshotコピーが削除された場合に再利用可能なディスクスペースの量を計算できます。また、必要に応じてSnapshotコピーを削除できます。

開始する前に

- オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。
- Snapshotコピーを含むボリュームがオンラインになっている必要があります。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「健全性：すべてのボリューム」ビューで、表示する Snapshot コピーが含まれているボリュームを選択します。
3. 「Volume / Health」の詳細ページで、「Capacity」タブをクリックします。
4. 「容量」タブの「詳細」ペインの「その他の詳細」セクションで、「Snapshot Copies」の横にあるリンクをクリックします。

   Snapshotコピーの数はリンクになっており、クリックするとSnapshotコピーのリストが表示されます。

関連情報

"[健全性/ボリュームページ"]

Active IQ Unified Manager でSnapshotコピーを削除する

スペースを節約したりディスク スペースを解放したりする場合、またはSnapshotコピーが不要になった場合、Snapshotコピーを削除できます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

ボリュームはオンラインである必要があります。

使用中またはロック状態のSnapshotコピーを削除する場合は、Snapshotコピーを使用しているアプリケーションからそのコピーを解放しておく必要があります。

- FlexCloneボリュームが親ボリューム内のベースのSnapshotコピーを使用している場合、そのSnapshotコピーは削除できません。

  ベース Snapshot コピーは、FlexClone ボリュームの作成に使用される Snapshot コピーであり、親ボリュームでステータス `Busy`およびアプリケーションの依存関係 `Busy, Vclone`として表示されます。

- SnapMirror関係で使用されているロックされたSnapshotコピーは削除できません。

  このSnapshotコピーはロックされており、次回の更新に必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「健全性：すべてのボリューム」ビューで、表示する Snapshot コピーが含まれているボリュームを選択します。

   Snapshotコピーのリストが表示されます。

3. 「Volume / Health」の詳細ページで、「Capacity」タブをクリックします。
4. 「容量」タブの「詳細」ペインの「その他の詳細」セクションで、「Snapshot Copies」の横にあるリンクをクリックします。

   Snapshotコピーの数はリンクになっており、クリックするとSnapshotコピーのリストが表示されます。

5. **Snapshot Copies** ビューで、削除する Snapshot コピーを選択し、**Delete Selected** をクリックします。

Active IQ Unified Manager でSnapshotコピーの再利用可能スペースを計算する

1つ以上のSnapshotコピーを削除した場合に再利用可能となるディスク スペースの量を計算できます。

開始する前に

- オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。
- ボリュームはオンラインである必要があります。
- ボリュームはFlexVolである必要があります。この機能はFlexGroupボリュームではサポートされていません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「健全性：すべてのボリューム」ビューで、表示する Snapshot コピーが含まれているボリュームを選択します。

   Snapshotコピーのリストが表示されます。

3. 「Volume / Health」の詳細ページで、「Capacity」タブをクリックします。
4. 「容量」タブの「詳細」ペインの「その他の詳細」セクションで、「Snapshot Copies」の横にあるリンクをクリックします。

   Snapshotコピーの数はリンクになっており、クリックするとSnapshotコピーのリストが表示されます。
5. **Snapshot Copies** ビューで、再利用可能なスペースを計算するSnapshotコピーを選択します。
6. **Calculate** をクリックします。

   ボリューム上の再利用可能なスペース（割合、KB、MB、GBなど）が表示されます。
7. 再利用可能なスペースを再計算するには、必要な Snapshot コピーを選択して、*再計算*をクリックします。

Active IQ Unified Manager のクラスタオブジェクトウィンドウとダイアログボックスについて

すべてのクラスタおよびクラスタ オブジェクトを、それぞれのストレージ オブジェクトのページで表示できます。対応するストレージ オブジェクトの詳細ページで詳細を確認することもできます。インベントリのストレージと保護の次の各セクションからは、System Managerユーザ インターフェイスを起動できるようになりました。

- [クラスタのインベントリ]ページ、[クラスタの健全性]ページ、[クラスタのパフォーマンス]ページ
- [アグリゲートのインベントリ]ページ、[アグリゲートの健全性]ページ、[アグリゲートのパフォーマンス]ページ
- [ボリュームのインベントリ]ページ、[ボリュームの健全性]ページ、[ボリュームのパフォーマンス]ページ
- [ノードのインベントリ]ページ、[ノードのパフォーマンス]ページ
- [StorageVM のインベントリ]ページ、[StorageVM の健全性]ページ、[StorageVM のパフォーマンス]ページ
- [保護関係]ページ

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。